

労働安全衛生に対する取り組み

大太平洋金属は、過去に発生した重大事故の経験から、何よりも社員の安全を優先した事業活動を実施しています。労働安全衛生マネジメントシステムOHSAS18001の認証登録をはじめとする様々な対策を推進しています。

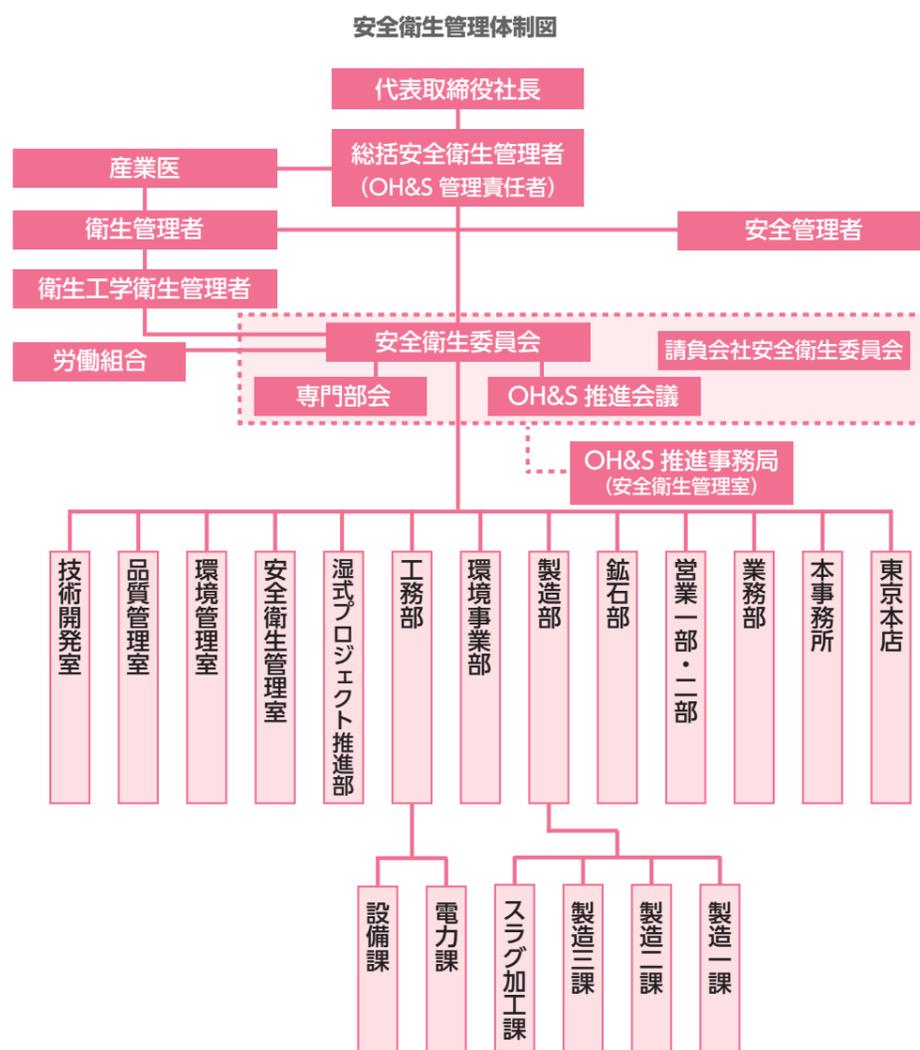
大太平洋金属における労働安全衛生の考え方

当社は、労働安全衛生管理を確実に実施するため、労働安全衛生マネジメントシステムの導入とOHSAS18001の認証登録を行っています。この中で、リスクアセスメントの実施による高リスク作業等の洗い出しと分析、施設などの対策、社員一人ひとりの意識とスキル向上のための各種社内講

習等の開催、社員の心身の健康増進に向けた施策等、様々な対応を行っています。

このような取り組みにより職場の環境改善に努め、日常の業務の中で真摯に労働安全衛生と向き合っています。

安全衛生管理体制



労働安全衛生マネジメントシステムOHSAS18001:2007の認証登録

当社は、2012年OHSAS18001:2007の認証を取得し、労働安全衛生管理体制の強化・確立により、安全で快適な職場づくりに向けて、取り組みを展開しています。

2012年度は、当社社長が制定した労働安全衛生方針に基づき、「H24年度OH&S 全社目標」を掲げ、安全衛生活動の推進、職場の危険・有害リスクの低減等の活動を行いました。

「H24年度 OH&S全社目標」

- 効果的な自主安全衛生活動の推進
 - より効果的なKY、指差呼称などの日常活動の徹底
 - 4Sの徹底 (特に清掃、不要物の撤去)
 - 潜在する気がかりハット報告の推進及び対策の実施
- 職場の危険・有害リスクの低減
 - 職場の危険・有害リスクの客観的な視点による洗い出し
 - 非定常作業のリスクアセスメント実施と作業計画書作成の推進
 - 重大なリスク (慢性疾病も含む) 低減対策の計画・実施
- 労働安全衛生関係法令及びその他の要求事項の遵守
 - 各部署に関する法令の確認と周知
 - 関係法令及びその他の要求事項の遵守
- 心身の健康保持と増進
 - 健康作り自主活動の推進
 - メンタルヘルス、生活習慣病予防に関わる研修等の継続実施
 - 快適職場作りの推進
- 安全衛生教育訓練の実施
 - 力量確保のための現場実践教育、研修の実施
 - 社内教育講師の育成
- 労働安全衛生マネジメントシステムの確実な運用
 - 安全衛生対策の運用基準の明確化
 - チェックシートによる安全衛生パトロールの実施

「安全の日」の制定

当社は、過去の重大事故の教訓を忘れぬよう、事故の発生した11月5日を「安全の日」と定め、安全文化の醸成に向け、安全衛生大会を開催しています。

また、安全衛生大会の中で開催された安全衛生集会では、社長自ら当社社員及び協力会社従業員を前に、ゼロ災害の達成に向けた安全意識の高揚を喚起しました。

2012年度の安全衛生大会では、外部講師による安全衛生に関する講演や、各部署からの安全衛生に対する取り組み事例発表等を行い、安全で安心して働ける職場作りを労使一体となって推進することを確認しました。



安全衛生大会



安全衛生集会で訓示する社長

総合防災訓練等の実施

総合防災訓練を年1回10月に実施しています。2012年度は、東日本大震災の教訓を踏まえ、大規模地震発生時の対応力向上・自衛消防組織の対応訓練に重点をおき、避難訓練及び救護訓練、通報・初期消火訓練を実施しました。また、八戸消防署の協力により、はしご車を使った高所の救出訓練や自衛消防隊による放水訓練なども実施しました。

想定して避難訓練を行い、社員及び協力会社社員が確実に高所に避難できたことを確認しました。



総合防災訓練

東日本大震災で構内が冠水したことから、2013年3月に津波を想定した津波避難訓練を実施しました。十勝沖を震源にマグニチュード8.6の地震が発生し、八戸は震度5弱を

さらに、当社はコンビニナート地区にあり、かつ、社内に重油タンク等の危険物貯蔵施設等を数多く抱えていることから、防火防災講習を実施しています。2012年度は延べ60名が講習を修了しました。

外部団体との取り組み

八戸災害防止研究会

八戸災害防止研究会は、三八地区労働災害防止連合協議会（八戸市と三戸郡の1市、5町、1村で組織される労働災害防止組織）の1つであり、業種の枠を超えて八戸市内の主要製造業9社が加盟しています。昭和46年1月の発足以来、毎月定例会開催等の活動を継続しています。当社は参加事業所の1社として、他の参加事業所とともに八戸地域の労働災害防止のための活動を行っています。

八戸災害防止研究会の主な活動内容

- ①加盟各社での災害発生メールを活用したリアルタイムな情報共有と水平展開
- ②参加企業が自負する安全衛生活動の紹介
- ③災害発生職場の原因対策や改善措置について意見交換
- ④労災発生職場、新規施設などテーマを絞った職場巡視
- ⑤各社の安全衛生教育資料等の情報交換、等

2011年の東日本大震災の際も、参加事業所各社で大きな打撃を受けましたが、研究会の担当者会議などで情報交換を行い、参加事業所間での連携や事例の共有を実施したことが復旧復興に役立ちました。

今後とも参加事業所とともに、「ご安全に！」を合言葉に、八戸地域の労働災害防止に向けて取り組んでいきます。

グループ企業との安全交流

当社及び当社グループ企業の5社で安全衛生部会を設け、安全衛生に関する意見交換や災害事例に対する対策の検討等を行っています。本部会は2009年に設立され、当社は2012年より参画しています。

本部会の会合は年1回開催し、工場の安全診断と診断後の質疑応答、各社安全成績等の工場概要報告、安全衛生取り組み事例報告、各社の災害発生報告などを行っています。

快適な職場作りと社員の健康増進に向けた取り組み

快適な職場作りの一環として、分煙化の促進や作業環境測定とその結果に基づく改善の促進を行っています。

製造現場を主体として、定期的な作業環境測定（粉じん：24ヶ所、特定化学物質：13ヶ所、騒音：47カ所）を実施しています。測定評価が管理区分Ⅱ及びⅢについては作業環境改善指導書を発行して対策実施を促し、更に管理区分Ⅲについては慢性疾患予防のために重大リスクとして、施設改善対策とその進捗管理を行っています。

また、「心身の健康保持と増進」を全社目標に掲げ、社員に健康作り自主活動の推進を促すとともに、メンタルヘルス研修会（2回）、生活習慣病予防に関わる健康教室（5回）を開催、職場復帰支援体制の強化を行っています。



メンタルヘルス研修会

VOICE より良い職場環境を目指して

私が担当している衛生管理については、作業環境測定に力を入れています。粉じんなどの発生で環境が悪い職場については、改善指導を行い、安全衛生委員会での進捗管理をしています。

安全衛生管理は、当社だけでなく、協力会社の皆さんにも協力を頂かないと実現できません。協力会社の皆さんに対しても、取り組みを丁寧に説明し、意見を伺い、納得を頂いて、当社と一体となって活動して頂いています。

また、労働安全衛生マネジメントシステムでは、法規制の管理に苦労しています。遵守すべき法規制は1,000を超えており、私自身もまだまだ勉強をしなければならぬと感じています。



安全衛生管理室 安全衛生課副長 坂本 淳一

各種社内教育・訓練

危険感受性・体感教育

当社構内で過去に起こった災害を基に、職場の日常に潜む危険を疑似体験することで、より安全に対する意識を高める「危険感受性・体感教育」を、2010年度より毎年行なっています。

2012年度は、年度当初から若年者の事故・災害が多くなったため、これまで新入社員を対象に実施していた本教育を、概ね入社5年未満の社員まで対象を広げ、それぞれの部署で抱える危険性に合わせた体感教育を実施しました。

この教育によって危険を肌で感じ、危険に対する意識向上につながればと考えています。



危険感受性・体感教育

職長研修

毎年、現場の指揮監督・指導を行う社員に対し、職長研修（2日）を実施しています。2012年度は5月、12月に実施し、39名の社員（協力会社含む）が受講しました。

この研修で、作業手順書の作成方法やリスクアセスメントの実施方法、現場での指導・教育の方法、事故・災害発生時の対応等、グループ演習を交えながら、職長としての役割と責務について学習しました。

VOICE 安全研修を受講して

私は入社したばかりですが、実際に製造の現場に入ってみて、現場作業における危険性を改めて認識しました。高温物を扱うことについては危険であることを理解していましたが、安全教育を受け、回転物などの危険性についても認識できませんでした。また、実際に起こった事故の例を、事故が起きた現場で教えて頂き、あらかじめそういった事例を知っておくことで危険予知ができると感じました。

安全教育で学んだ、事故に巻き込まれないための対策は、いつも心に留め、実践していかなければならないと思っています。



技術開発室 乾式製錬開発課 久保 貴寛

また、既に職長教育を受けてから5年以上経過した者については、職長の能力向上教育（1日）を開催しスキルアップを図っています。2012年度は6月、8月と2月に開催し、43名が受講しました。

中堅社員向け安全衛生教育

今後、当社の中核を担っていく中堅社員に対し、毎年安全衛生教育を行っています。中堅社員としての心構えや、安全衛生に対する意識向上教育を目的に、危険予知やリスクアセスメントの演習をメインとした講習を実施しています。

若手社員を育成する立場の中堅社員が、現場で自ら安全衛生に配慮し行動できるように、これからも継続的に啓発していきます。



中堅社員向け安全衛生教育

安全衛生管理者研修

当社の管理職（副長、グループ長、課長、次長）に対し、毎年、安全衛生管理者研修を行っています。2012年度は51名の管理職が受講しました。

2009年に休業災害ゼロを達成したものの、2010年から社員の休業災害が多発している中、各現場の統括を行うリーダーである管理職が、安全に対し高い意識を持つことで、配下の社員も安全に対する意識が変わり、リスク軽減につながると考えています。